

## 平成27年度中種子養護学校の取組(成果と来年度の取組)

### 【 学校評価 】

#### 1 昨年度の反省から

項目・取組	成果(○)・来年度の取組(□)
<p>(1) 学校評価に係るスケジュールの見直し</p> <p>→ 計画的に評価を行う期間を設定し、更に学部会や職員会議等で、具体的に細かい分析や検討を行い、具体策につなげるための方法に取り組む。</p>	<p>○ 係の早めの提案により、集計が短時間でできた。その結果、学部会や職員会議等で分析や検討、その具体策等を考えることができた。</p> <p>□ 具体策の実行に向けて、各学部の特色や実態を生かしながらの到達度を確認する。</p>
<p>(2) 記名式による職員の自己評価アンケート</p> <p>→ 一人一人の職員が、主体的に又責任をもって学校評価に取り組む方法を行う。また、人権意識や進路に関する課題に対して研修会を実施したり、小・中・高等部の相互の授業及び職場等実習の巡回指導に積極的な参加を促し、小中高一貫した指導に努める。</p>	<p>○ 「記名方式」により、職員一人一人の主体性・責任感を喚起でき、更に建設的な意見が多く、来年度に生かせる評価であった。</p> <p>□ 小中高一貫した指導に関しては、授業及び職場等実習の巡回指導等を生かした更なる充実に取り組む。</p>
<p>(3) 中学部・高等部生徒の学校評価への参加</p> <p>→ 対象を中学部の可能な生徒にまで広げ、生徒の思いや願いなどを学部経営に生かすとともに生徒自身の自己評価を通して、教師の生徒理解及び生徒の自己理解を図る。</p>	<p>○ 中・高等部生徒自身の自己意識や思い、願いを更に理解するよい機会となった。</p> <p>□ 個別の教育相談を定期的を実施し、更に生徒の気持ちに寄り添う学校づくり(授業も反映)に努める。</p>
<p>(4) 保護者によるアンケート</p> <p>→ より丁寧に保護者の願いや思いを反映させるために、評価項目だけでなく、「記述欄」の意見を学校・学部運営に生かせるように検討をする。また、アンケートの記名式や屋久島の保護者及び学園の職員の意見の収集については、検討する。</p>	<p>○ 記述欄の内容には、丁寧に改善等に取り組む。</p> <p>□ 記名式は賛否両論あり、自由な意見の収集に支障が出ない形を取りたい。屋久島の保護者に対しては、今後もこまめな連携を進める。</p>

## 2 地域の中の本校としての取組

項目・取組	成果(○)・来年度の取組(□)
<p>(1) 生活環境の整備等について</p> <p>→ より安全な生活環境を整備するために、校内巡視等による点検・補修等を行う。クーラーの整備等、時間を要する内容については県とも連携しながら、学校で可能な対応を丁寧に行っている。</p> <p>→ 給食指導で使用するスプーンやはさみ等の殺菌・消毒については、町の給食センターと連携し5月中旬から実施している。食に関する指導は、栄養教諭から指導を受けている。</p> <p>(2) 学習環境の充実について</p> <p>→ 昨年度の実績を踏まえ、今年度から三か年計画で新たに研修テーマを設定して、小中高一貫したキャリア教育の推進を図っている。</p> <p>→ 授業ミーティングや事例研究会で職員の共通理解を図り、授業での児童生徒へのかかわり方や言葉掛けなどの指導の一貫性を図っている。</p> <p>(3) その他</p> <p>→ 卒業生に対するフォローを関係機関とも連携して進めている。また、高等部の職場開拓や職員の就労体験により、就労に対しての意識を高めている。</p> <p>→ 生徒一人一人の課題に対しては、保護者及び関係機関と連携し合い、全校挙げての生徒指導の充実に努めている。</p> <p>→ 学校職員と学園職員との意見交換の場は、必要に応じて設定し実施している。</p>	<p>○ 校内の危険箇所について、安全点検日や各学部で情報を出し合い、職員で共通理解した。</p> <p>□ 改善が必要な箇所は、まとめて修理等を行う。施設整備等は計画的に県へ要求している。</p> <p>○ 殺菌・消毒等は定着しており、安全は確保されている。食に関する指導も全学部で実施し、毎日の給食指導に生かされている。</p> <p>□ 今後も引き続き連携を取り合う。</p> <p>○ 一人一授業公開を中心に据えた研修により、キャリア教育に関する意識や指導が向上している。</p> <p>□ 成果を教育課程編成に生かしている。</p> <p>○ 授業のみならず、毎日の生活でのかかわりが充実している。</p> <p>□ 更なる共通理解を図るため、必要に応じて情報を提供し合う体制を実行していく。</p> <p>○ 必要に応じて、関係機関とこまやかな連携をとり対応している。1月16日に「第1回卒業生の同窓会」を実施し、フォトフレーム作りや近況報告等を行い、新たな絆を確認することができた。</p> <p>□ 今後も丁寧に対応していく。</p> <p>○ 児童生徒の探索に関して、警察等との連携の重要性を確認できた。</p> <p>□ 今後の学校の体制づくりを行う。</p> <p>○ 定期的な会を開催し、児童生徒の情報交換や相互の取組等への協力等が学校生活に生かされている。また、連絡帳も活用されており、緊急の場合の連携も確実にとれている。</p> <p>□ 来年度も更なる充実に努めたい。</p>

【 信頼される学校づくり 】

- 昨年度、職員間で共通理解した3点(下記に示す)について確認するとともに、児童生徒や保護者、地域のニーズを適切に把握し、学校の取組について分かりやすく情報発信することに努める。

- ① 児童生徒への丁寧な指導・支援ができる学校・教職員
- ② 保護者の期待に応え、しっかりと連携ができる学校・教職員
- ③ 地域の期待に応えられる学校・教職員

- 教職員の意識向上のため、「服務に関する研修」を年2回実施した。懸案事項となっている交通法規の遵守を初め、個人情報保護、体罰、人権尊重等の項目をチェックし集計結果を公表した。更に、「標語」を作成し、校内の壁面を利用した「意識の共有化」を行っている。
- サービスに関する研修は毎年行い、公務員としての、また、教職員としての自覚を高めていく。さらに、個人情報保護や人権尊重に関する内容を深めたい。

1 保護者や地域のニーズの把握

項目・取組	成果(○)・来年度の取組(□)
(1) 保護者からの相談等に対して、傾聴やカウンセリング的対応など、職員の教育相談やコミュニケーションスキルの向上を図る。 (2) 保護者アンケートの結果を基に、学部PTAや学級PTAで意見を聞く機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者からの相談や意見等に関しては、設定された教育相談等の時間だけでなく、随時対応している。時間がなかなかとれない場合は、連絡帳や電話、家庭訪問等で工夫している。</li> <li>□ 各家庭の教育方針を尊重しながら、学校ができる支援に努める。</li> </ul>
(3) 「なかよう夏季セミナー」や「なかよう公開授業と研修会」で、中種子養護学校に期待する役割や意見等についてアンケートを実施し、それらの意見等を学校行事等に反映していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域のニーズに対応できる研修内容を検討し実施できた。島内だけでなく、県内の特別支援学校の参加もあり、有意義な研修会であった。</li> <li>□ 研修後の意見やアンケートから、来年度は実施日や内容等を検討する。</li> </ul>
(4) 要望、日々の学校生活の振り返り等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に備えての備蓄水</li> <li>・ 災害時等における通学バス対応</li> <li>・ 児童生徒の安全・安心に対する対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間毎に交換可能な備蓄水の確保</li> <li>○ 新規のバス停留所の運行、バス避難場所への依頼済み</li> <li>○ 校内の危険箇所をチェックし補修する。</li> <li>○ 児童生徒の探索活動について、体制を検討する。</li> </ul>

## 2 学校の取組についての情報発信

項目・取組	成果(○)・来年度の取組(□)
<p>(1) 学校だよりの内容の見直し・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布先を見直し, 町の小・中学校, 高等学校, 特別支援学校等も対象とする。</li> <li>・ 見やすさ, 分かりやすさについて工夫する。</li> </ul> <p>(2) 連絡帳や学級通信(週報), 学部だよりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内での共通理解のための掲示等を更に工夫をする(掲示板の設置)。</li> </ul> <p>(3) 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民文化祭(CGアート)に関する講師派遣等で参加している。</li> </ul> <p>(4) 高等部だより「チャレンジ」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等部第1期生の卒業後の様子や高等部の取組について内容を検討し, 進路先や実習先へ配布している。</li> </ul> <p>(5) ホームページ等の改善と新規の理解啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動企画委員会を新設し, ホームページを初めとして広報活動全体を見直していく。</li> <li>・ 高等学校の生徒を対象とした「高等生ボランティア講座」「保育所等の保護者対象の研修会」「関係機関等の研修会」の実施</li> </ul>	<p>○ 配布先を拡大し, 本校のピーアールに努めることができた。</p> <p>□ 最新の情報はHPを活用してもらいながら, リアルタイム的に提供できた。</p> <p>○ 掲示板を作り直し, 見やすい位置に設置し, 内容等や見やすさに工夫している。</p> <p>□ 内容等も管理職が確認できる体制ができています。</p> <p>○ 1月に龍星館第1回生の同窓会を実施し近況報告や触れ合いができた。卒業生の元気な姿は, 職員や後輩を励ましている。また, CGアートでは全国大会に生徒が1名選ばれ, 高美展では一人を除く高等部全員が入選し, 本校の魅力を示すことができた。</p> <p>□ 来年度, 継続していきたい。</p> <p>○ 広報活動企画委員会での検討を経て, 新規のHPを作成したことで, 本校の活動がより分かりやすくリアルタイム的に提供できた。また, 高校生を対象とした講座や保護者対象の研修会等, 初めての試みにもかかわらず, 参加者の感想は好評であった。</p> <p>□ 内容を検討しながら, 継続する。</p>
<p>(6) 受賞等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CGアート会長賞: 高1人</li> <li>・ 高美展: 優秀賞: 高3人 奨励賞: 高2人 入選: 高12人</li> <li>・ なかたねの子等 勤労奉仕賞: 体育賞: 中1人 リーダー賞: 小1人 親切友情賞: 学芸賞: 読書賞: 高1人ずつ</li> <li>・ 漢字検定: 6級1人 7級一人合格(2学期) 8級2人 9級1人(3学期挑戦)</li> </ul>	

## 3 その他(服務規律など)

- (1) 交通事故・違反等は現在はない。
- (2) 出勤時の服装や身だしなみを意識するようになっている。
- (3) 情報機器関連の管理を徹底し, 個人情報が含まれるデータ管理に努める。校内サーバーの更新作業完了→2～3月に新規の県庁LANシステムへ
- (4) 「モラルの維持向上のためのセルフチェックリスト」を実施し, 職員の意識を高める。